

国家戦略特区WG（平成27年6月5日）の議事録について

2017年8月25日

国家戦略特区WG座長 八田達夫

- 1、当WGでは、透明性確保の観点から、運営要領（平成25年5月10日決定）に基づき、審議の内容等を座長が適当と認める方法により公表することとしており、具体的には、原則は公開としつつ、他方で提案者が非公開を望み、それに相当の理由があると認められる場合や、その他提案者を守る必要があると考えられる場合には、非公開を認めることとしてきました。また、議事録と議事要旨の関係については、4年後の公開予定の議事録を原則そのままの形で議事要旨として公表するとの運用をまいりました。
- 2、また、当WGでは、会議の一般則にしたがい、提案者が独自の判断で同席させた説明補助者について、参加者と扱っておらず、公式な発言を認めていません。したがって、説明補助者の出席・発言については、議事録及び議事要旨に掲載しないことを原則とし、提案者が敢えて公開を望む場合にのみ、例外的に掲載することとしてきました。
- 3、平成27年6月5日の特区WGは、提案主体の愛媛県・今治市から、「議会対策、反対派・競合相手との関係上、非公開の希望」があり、非公開の前提で議事進行しました。非公開との前提だったため、公式な参加者以外の説明補助者による非公式な補足発言も認めていました。
その後、今治市が国家戦略特区に指定され、提案が実現したことから、議論経過をできる限りオープンにすべきと私が考え、提案主体とも再度協議し、本年3月6日に、議事要旨を公開しました。その際、説明補助者の出席・発言については原則どおり扱い、また、提案者が非公開を希望しても希望を無視して公開されることがあるとの誤解を防ぐ観点から、非公開を希望していたやりとりは議事要旨では掲載しないこととしていました。
- 4、その後、決して正常なことではありませんが、当該会議に関して、公開していない内容が報じられ、議事要旨の公開にあたって不適切な処理がなされたかのような疑念を持たれる事態となりました。このため、やむをえず、当初は非公開の前提で議事進行していたことを明らかにしました。
- 5、この結果、当初、非公開を希望していたやりとりについて、開示を差し控える事由が実質的になくなりましたので、議事録を公開することにしました。

問合せ先 内閣府地方創生推進事務局 TEL 03-5510-2151